平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場会社名　株式会社 アルメディオ　　上場取引所　東
コード番号　7859　URL　http://www.almedio.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 飯沼 芳夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 企画・総務・経理担当　(氏名) 井野 博之　TEL 042-397-1780

四半期報告書提出予定日　平成25年11月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	851	△20.5	△156	―	△124	―	△200	―
25年3月期第2四半期	1,071	△5.7	△133	―	△122	―	△239	―

(注)包括利益　26年3月期第2四半期　△144百万円　(―%)　25年3月期第2四半期　△232百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△41.95	―
25年3月期第2四半期	△50.12	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,995	3,482	87.2
25年3月期	4,108	3,651	88.9

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　3,482百万円　25年3月期　3,651百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	5.00	5.00
26年3月期	―	0.00			
26年3月期(予想)			―	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,190	6.9	△50	―	△41	―	△129	―	△27.04

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	5,225,000 株	25年3月期	5,225,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	455,370 株	25年3月期	455,370 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	4,769,630 株	25年3月期2Q	4,769,660 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※四半期決算補足説明資料関係

・当該補足説明資料は、Financial Data Bookとして当社ウェブサイト(http://www.almedio.co.jp/)のIRニュースに掲載いたします。Financial Data Bookには、製品別売上高ほか業績推移等をまとめております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
(継続企業の前提に関する注記) …… 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 8
(セグメント情報等) …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策による円安株高を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

しかしながら、実需拡大に暫く時間を要すること、また、欧州債務問題の再燃や新興国経済の減速、とりわけ中国経済の先行き不透明感など不確定な状況もあり、本格的な景気回復には、まだ時間がかかる状況と見込まれます。

当社グループの関連する情報家電業界は、カーオーディオ・カーナビ等の車載機器が自動車需要の拡大により、堅調に推移してきましたが、ＡＶ機器向けの需要の冷え込みが続き、全体としては厳しい状況で推移しました。

音楽映像業界は、消費者の嗜好多様化が進み、ミリオンセラーの本数が減る一方で、スマートフォンの普及によりコンテンツの流通経路が複線化し、光ディスクの販売枚数は微減が続いています。

断熱材事業に関する各種工業炉用炉材の関連市場は、国内の産業炉関連メーカーの設備投資に一服感があり、また欧米向けの輸出の減少や経済低迷による中国の産業炉関連メーカーの需要が伸び悩む等、全体として需要は低迷しました。

また、当第２四半期連結累計期間におきまして、為替相場の変動により、為替差益27百万円を営業外収益に計上しております。

この結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高８億51百万円（前年同四半期比20.5％減）、営業損失１億56百万円、経常損失１億24百万円、四半期純損失２億円となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

テストメディア事業

当事業は、オーディオ・ビデオ機器やコンピュータ周辺機器等の規準及び調整用テストディスク等の開発・製造・販売を行う「テストメディア」と、ＤＶＤベリフィケーションラボラトリ及びＢＤテスティングセンターとしての認証テスト及び各種ディスクの特性テスト受託等を行う「テスティング」が含まれます。

テストメディアは、市況の冷え込みにより合理化・省コスト化が続く顧客企業に対してＡＶ機器向けの需要掘り起こしや、取扱商品の拡充による新規顧客獲得及び既存顧客の売上維持・拡大を図りました。また、車載機器向けの需要は堅調に推移しましたが、ＡＶ機器向け需要の低迷を補うには至らず、売上は前年同四半期を下回りました。

テスティングは、ハード機器関連の評価受託などテストアイテムの拡充を図りながらサービス展開しましたが、売上は前年同四半期を下回りました。

以上により、テストメディア事業の売上高は２億84百万円（前年同四半期比9.9％減）となりました。

クリエイティブメディア事業

当事業は、ＣＤ・ＤＶＤ・ＢＤのＯＥＭ製造・販売を行っております。

クリエイティブメディアは、微減の傾向が続く音楽映像市場に対して、営業体制の拡充等による新規顧客の獲得及び既存顧客の売上維持・拡大を図りました。

また、ＯＥＭ製造の受託範囲の拡大及び取扱商品・サービスの拡充による、高付加価値の提案・販売を図ったものの、売上は前年同四半期を下回りました。

以上により、クリエイティブメディア事業の売上高は３億55百万円（前年同四半期比32.3％減）となりました。

断熱材事業

当事業は、連結子会社・阿爾賽（蘇州）無機材料有限公司において、電子部品用副資材、耐火材料及び関連製品の開発・製造・販売を行っております。

また、当社でも同社製品を中心とした輸入販売を行っており、本年５月には、産業炉用加熱プラントの受注拡大を図るため、九州事業所を開設しました。

当社における国内販売については、産業炉関連業界という成熟化した市場への切り込みを図り、当社取扱い製品を採用する顧客を獲得する中で、業界での認知もされつつあるなど、進捗を果たせましたが、阿爾賽は、中国経済の減速による各種工業炉用炉材など耐火材料の需要低迷を受け、売上は前年同四半期を下回る推移となりました。

以上により、断熱材事業の売上高は２億５百万円（前年同四半期比8.7％減）となりました。

その他事業

当事業は、新規事業に関する開発・製造・販売を行っております。

その他事業は、ＬＥＤ照明機器、長期保存用光ディスク等の販売を行いました。

以上により、その他事業の売上高は６百万円（前年同四半期比6.0％増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第２四半期連結会計期間末における総資産は配当金の支払・仕入債務の減少等に伴う現金及び預金の減少により、前連結会計年度末と比較して１億13百万円減少し、39億95百万円となりました。負債は厚生年金基金脱退に伴うその他流動負債の増加により55百万円増加し、５億12百万円となりました。純資産は、四半期純損失の計上及び配当金の支払に伴う利益剰余金の減少等により１億68百万円減少し、34億82百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期における連結業績予想は、平成25年10月24日に公表しました「厚生年金基金脱退による特別掛金の確定及び業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の数値から修正しておりません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,535,578	1,318,611
受取手形及び売掛金	317,978	328,325
商品及び製品	68,630	75,883
仕掛品	70,833	69,114
原材料及び貯蔵品	113,236	179,618
その他	27,380	27,557
貸倒引当金	△2,604	－
流動資産合計	2,131,034	1,999,110
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,345,426	1,347,456
その他（純額）	470,672	488,684
有形固定資産合計	1,816,099	1,836,140
無形固定資産	9,119	9,373
投資その他の資産	152,235	150,801
固定資産合計	1,977,454	1,996,315
資産合計	4,108,488	3,995,426

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成25年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	77,534	60,812
短期借入金	36,453	37,438
未払法人税等	4,962	2,870
賞与引当金	30,303	29,170
その他	84,021	159,312
流動負債合計	233,275	289,603
固定負債		
退職給付引当金	192,244	193,672
その他	31,795	29,655
固定負債合計	224,040	223,327
負債合計	457,315	512,931
純資産の部		
株主資本		
資本金	918,200	918,200
資本剰余金	871,580	871,580
利益剰余金	2,198,080	1,974,167
自己株式	△362,848	△362,848
株主資本合計	3,625,012	3,401,099
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,695	20,885
為替換算調整勘定	8,465	60,510
その他の包括利益累計額合計	26,160	81,395
純資産合計	3,651,173	3,482,494
負債純資産合計	4,108,488	3,995,426

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
売上高	1,071,404	851,668
売上原価	765,184	641,272
売上総利益	306,220	210,395
販売費及び一般管理費	439,826	367,186
営業損失（△）	△133,606	△156,791
営業外収益		
受取利息	1,722	2,382
受取配当金	1,105	1,545
為替差益	5,814	27,216
作業くず売却益	1,272	903
その他	1,259	946
営業外収益合計	11,175	32,993
営業外費用		
支払利息	498	515
その他	0	0
営業外費用合計	499	515
経常損失（△）	△122,930	△124,313
特別利益		
固定資産売却益	－	395
貸倒引当金戻入額	2,106	－
特別利益合計	2,106	395
特別損失		
固定資産売却損	－	53
固定資産除却損	1,047	－
リース解約損	14	－
早期割増退職金	5,641	－
退職特別加算金	118,067	－
厚生年金基金脱退損失	－	74,270
特別損失合計	124,770	74,324
税金等調整前四半期純損失（△）	△245,595	△198,241
法人税、住民税及び事業税	6,824	1,508
法人税等調整額	△13,381	315
法人税等合計	△6,556	1,823
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△239,038	△200,064
少数株主利益	－	－
四半期純損失（△）	△239,038	△200,064

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△239,038	△200,064
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,303	3,190
為替換算調整勘定	3,649	52,044
その他の包括利益合計	6,952	55,234
四半期包括利益	△232,086	△144,829
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△232,086	△144,829
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	テストメディア事業	クリエイティブメディア事業	断熱材事業	その他事業	
売上高					
外部顧客への売上高	316,005	524,099	225,551	5,748	1,071,404
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	316,005	524,099	225,551	5,748	1,071,404
セグメント利益又は損失(△)	106,108	△14,104	24,103	△73,098	43,009

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	43,009
全社費用(注)	△176,615
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△133,606

(注)　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	テストメディア事業	クリエイティブメディア事業	断熱材事業	その他事業	
売上高					
外部顧客への売上高	284,590	355,021	205,963	6,093	851,668
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	284,590	355,021	205,963	6,093	851,668
セグメント利益又は損失(△)	142,722	△16,538	△48,989	△84,487	△7,293

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△7,293
全社費用(注)	△149,497
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△156,791

(注)　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。